



第 13 回川崎国際環境技術展 ～初のオンライン開催～

川崎市経済労働局国際経済推進室

「川崎国際環境技術展」とは？

川崎市では、優れた環境技術やノウハウを川崎から国内外に広く情報発信するとともに、市場開拓や販路拡大、新たなネットワーク形成につながる交流の場を提供し、環境分野でのイノベーションの創出や産業の活性化を目的に、環境分野の展示会である「川崎国際環境技術展」を毎年開催しております。



第 12 回川崎国際環境技術展の様子
(2019 年 11 月 13・14 日)

コロナウイルス禍での技術展開催

2020 年度においては、2021 年 1 月 21 日～2 月 5 日に「川崎発脱炭素が拓く未来～Kawasaki Green Recovery～」をテーマに「第 13 回川崎国際環境技術展」をオンライン展示会として開催いたしました。本展示会は、例年、対面形式で開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域産業が大変厳しい状況に置かれている中においても、市内中小企業をはじめ、脱炭素社会の実現に貢献する優れた技術やノウハウを有する環境関連企業が世界に情報発信し、新型コロナウイルス感染症の影響によって失われた営業機会や需要の回復を図るための場を提供させていただきたいという思い



第 13 回川崎国際環境技術展 エントランスページ

から、初のオンライン展示会として開催することといたしました。

オンライン上に仮想の展示会場を設け、展示ブースや講演・セミナーなどをバーチャル空間において展開するオンライン展示会においては、「いつでも」「どこからでも」アクセスが可能であることから、時間や場所の制約がなくなり、効率の良い情報収集が可能となります。

第 13 回川崎国際環境技術展では、講演・セミナーを動画化し、オンデマンド配信を行ったほか、Web 会議サービスを活用した商談ルームを設置し、商談コンシェルジュによる、来場者からのニーズに応じた商談会のセッティングを実施するなど、出展者と来場者のビジネスマッチングの促進を行いました。



展示ブース

海外ビジネスマッチングの促進

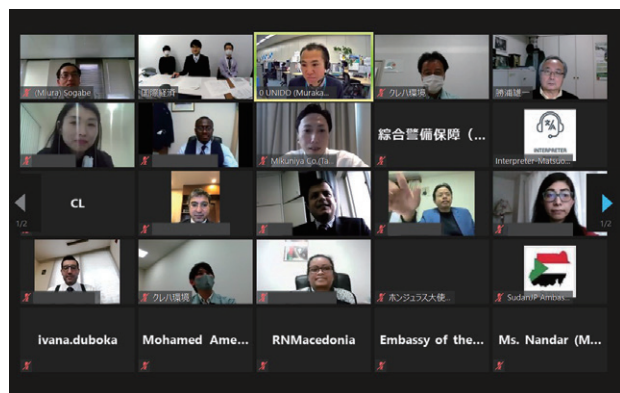
開催期間中の1月27日（水）には、海外関係者と参加企業を繋ぐマッチングの機会として、「バーチャル UNIDO ツアー」を実施しました。従前の対面形式での開催時には、国際連合工業開発機関（UNIDO）と連携し、各国大使館関係者に向けた場内視察ツアーを行っていましたが、当該企画もオンライン化しました。

Web会議に参加した大使館関係者は19か国22名で、ASEAN、アフリカ、中央・南部アメリカ諸国等の様々な大使館から、前回実績を超える関係者（一部駐日大使を含む）にお集まりいただきました。（前回実績：17か国21名）

当日は同時通訳環境のもと、本展示会について御紹介をした後、出展企業5社（株式会社クレハ環境、総合警備保障株式会社 川崎支社、日本ベシック株式会社、日本ミクニヤ株式会社、三浦工業株式会社）により、各社の取り組みや製品情報を中心としたプレゼンテーションを行っていただきました。

参加大使館にとっては自国の直面している環境問題解決の糸口となりうる企業や技術を知る機会として、また参加企業にとっては、通常接点を持つことの少ない多数の大使館関係者に対し、一度に直接PR出来る機会として活用いただきました。

プレゼンテーション後には、大使館関係者から発表企業への質問が寄せられ、終了後のアンケート結果も大変好評なものとなりました。その後には個別 Web 会議や大使館への訪問など、具体的なアプローチに繋がった事例もあり、継続的なフォローアップを図っております。



バーチャル UNIDO ツアーの様子

今後に向けて

第13回川崎国際環境技術展はオンライン開催としたことで、場所や時間の制約がなくなり、国内外問わず「いつでも」「どこから」でもご参加いただくことが可能となり、ご来場いただいた方から「自分達の都合の良い時間に何回でも閲覧できるため、参加しやすい」「これまで対面では参加できなかったが、今回初めて参加できた」といった声を寄せていただいております。その結果、UNIDO ツアーへの参加者数が増えるなど、例年に比べ海外とのビジネスマッチングを強化することができました。その一方で、国内におけるビジネスマッチングなどに関しては、出展者から「全体的に一方的な発信となってしまった」「リアルな展示会と比べて偶然の巡りあわせが期待できない」といったご意見をいただいております。参加者同士のコミュニケーションに高いハードルがあったことや、偶発的な出会いを創出することができなかったことなど、新たな課題が明らかになりました。

また、新型コロナウイルス感染症などの影響により、デジタル化の流れがより一層加速していることなど、社会の変容が急速に進んでおり、市内中小企業などのビジネスチャンスの創出のためには、デジタル化の推進がより一層重要となっています。

こうした課題や社会変容を踏まえて、第14回川崎国際環境技術展は、オンライン上で出展者と来場者が双方向にコミュニケーションをとることができるようにするなど、オンライン展示会の機能を強化するとともに、引き続き UNIDO をはじめとする支援機関と連携した海外関係者を対象とした企画などを実施し、出展企業の情報発信や販路開拓を支援いたします。さらに、オンライン展示会に参加した企業・団体を対象とした対面式の商談会などを実施することで、オンライン上で創出したマッチングのさらなる深化を図ります。このように、オンラインと対面の両方の特性を融合し、コミュニケーション機会の向上やマッチングフォローの充実を行うことで、より多くのビジネスマッチングの創出を目指して参ります。